ST 通信

第 16 号

暦の上では春をむかえましたが、まだまだ寒い日が続いています。今年はインフルエンザが特に流行っているようすです。規則正しい生活を心がけ、子どもたちの体調に配慮しながら、元気に過ごせるようにしていきたいですね。

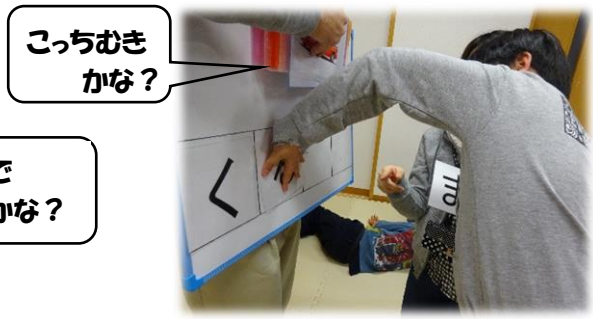
～ことば遊びの時間～

平仮名カードを使った遊びをしていると、子どもたちがどのように文字を理解しているかよくわかります。例えば、文字は読むもの、書くものという基本的な性質以外に、次のようなルールの上に成り立っています。

・上下や左右の向きが決まっている。
・一直線に並んでいる。
・横書きの場合は左から、縦書きの場合は上から読むように並んでいる。

など。

読めるか読めないか、書けるか書けないかだけでなく、子どもたち一人ひとりがどのように理解しているのか、新たな発見ができています。



紙遊び

活動の中で、紙遊びを行いました。紙遊びは紙に触れる、破る、引っ張る、丸めるなど、手先を使ったいろいろな操作が必要になります。また、ちぎった紙を紙ふぶきのようにして見て楽しんだり、破れるときの音や、紙同士がすれ合う音など聞いて楽しむことができます。子どもたちが紙を引っ張るときに「ギュウ～」という言葉をそえたり、「ビリビリ」と破れる音を言葉で表すなど、自然に子どもたちが真似をしやすい言葉を使うことができます。